

区分・種別	県指定有形文化財（絵画）		
名称	けんぼんちやくしよくこかんしれんぞう 絹本著色虎関師錬像 1幅		
所在地	西予市宇和町（愛媛県歴史文化博物館）		
所有者	常定寺	管理団体	
指定年月日	昭和40年4月2日		
解説	<p>この画像は、縦113cm、横55cmの画幅で、画家は不明であるが、寺伝では兆殿司の筆によるもので室町時代初期の作品といわれている。</p> <p><small>じょうじょうじ</small> 常定寺を創建した<small>かいとう</small> 回塘禅師が<small>こかんしれんこくし</small> 虎関師錬国師に師事し、同寺開山（第1世）に請じたことに由来している。</p> <p>虎関師錬、通称海蔵和尚（1278～1346）は、生前に国師と称され、詩文に長じ、文は、唐宋八家に比されていた。多数の著書があるが、中でも『<small>げんこうしゃくしよ</small> 元亨釈書』は有名である。</p> <p>この画幅は、もともと回塘和尚像と一対をなすものと思われるが、本画幅は非常にすすけて、肉眼ではほとんど見分けがつかない。<small>がさん</small> 画賛の跡があるようだが判然としない。</p>		

